

分譲保留地一覧表

番号	面積 (㎡)	分譲価格 (円)	用途地域
12 ㉓	427.37	61,541,280	第一種低層住居専用
12 ㉔	436.94	72,532,040	近隣商業
12 ㉕	227.23	33,175,580	第一種低層住居専用
12 ㉖	356.08	67,299,120	第二種住居
12 ㉗	223.88	35,149,160	第一種低層住居専用
12 ㉘	287.50	40,825,000	第二種住居
12 ㉙	195.18	34,351,680	第一種中高層住居専用
12 ㉚	240.29	55,266,700	近隣商業
12 ㉛	185.58	29,692,800	近隣商業
12 ㉜	180.40	36,440,800	第一種中高層住居専用
12 ㉝	255.78	34,274,520	第一種中高層住居専用
12 ㉞	154.44	35,212,320	第二種住居
12 ㉟	190.83	40,074,300	第二種住居

忠生土地区画整理地内の

保留地を分譲販売

市が施行している忠生土地区画整理事業地内の保留地を分譲しています。
所在地 矢部町 根岸町及 び木曾町
面積 1区画約186平方メートル
2区画約226平方メートル
3区画約3102平方メートル
価格 1区画3102万円
2区画約3853万円
3区画約3853万円
施設 上下水道・都市ガス使用可能
岡田市区画整理事務所 ☎792・3771

(注意)
1. 12 ㉓(106 A) 保留地は当面の間、公共下水道は使用できません。
2. 12 ㉓・12 ㉔・12 ㉕ 保留地の公共下水道は、使用時期の調整を要します。
3. 12 ㉖及び12 ㉗ 保留地の一部に、工作物があります。

まちだ 歴史発掘

その1

私たちの住んでいる町田は、その昔どんなところだったのか、皆さんのお住まいの場所やその近くで意外にも、その疑問を解くけれども発掘されてきたものもありません。
これを本紙では、「まちだ歴史発掘」と題して、町田の市内各地で発掘調査されてきた遺跡を中心として、自由民権に関する史料もまじえて点描していきます。

今回は手始めに、市内の保存整備された遺跡から簡単に

ひこう機騒音の町田の自然

(238) オオバコ

靴底に付着し 広がる刃者種子

おおばこの花ふみきぬ 煙の畦(はる代) 水田の畦、舗装されていない公園の小道や畑の畦を歩いていると、鮮やかな緑が目につく。春をまちかねていた草の芽が、いつせいに顔をだすから、その中に広い葉のオオバコが群れているのを見かける。
この植物は、タンポポのようにならび地面にへばりつくように生えているロゼット型の多年草で、しかも、道の真ん中で生活する。れつきとした双葉あることを指摘した、なんと

子葉類であるが根はひげ根葉脈は平行脈で単子葉類の形状をもった変わり者だ。私の娘が小学校に入学したときの話だから、20年前の話になる。教科書の中に、数種類の春の野草が紹介されていたのだが、その中にオオバコもあった。私もその絵を見ていたが、恥ずかしい話、全く異常に気がなかった。ところが、京都に住んでいた女の子が、京で三つ葉を観察してオオバコの絵に間違いがあることを指摘した。なんと、別名をケイロツバ(蛙葉)



平成13年4月21日 かしの木山自然公園にて撮影



縄文時代の住居跡(忠生遺跡)

主根を持った立派な根が描かれていたのである。花は初夏の頃長い花茎にたくさんのおしべの花粉を散らす。一つの花に茶色いカプセル状の袋ができ、5〜6個の種子をつくる。この種子は水に会うと粘性になり、靴などの下足に付いて運ばれる。ワラジグサの名前をもつ由縁だ。光がないと発芽できず、他の植物には住みにくいのが明々人の歩く道端に好んで生える。

お詫び
本誌5月1日号の1面、「幼稚園の預かり保育」の幼稚園の名前が一部誤っていました。正しくは、開進幼稚園です。お詫びして訂正します。
岡田区広報課 ☎724・2101

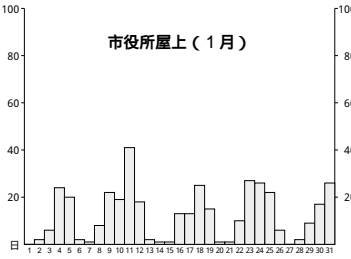
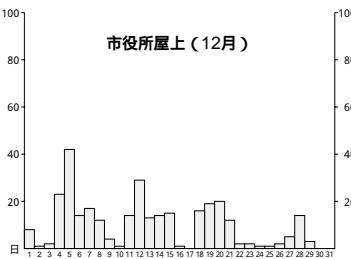
航空機騒音発生状況 2000年11月~2001年1月

測定場所	測定月	総数	騒音発生回数			
			70~79デシベル	80~89デシベル	90~99デシベル	100デシベル以上
市役所屋上	11月	132	79	43	10	0
	12月	307	142	122	40	3
	1月	380	139	163	68	10
本町田東小学校	11月	112	73	35	4	0
	12月	215	105	92	17	1
	1月	288	127	137	24	0
小山小学校	11月	290	252	36	2	0
	12月	300	248	47	5	0
	1月	317	266	47	4	0

騒音計設置場所

市では、昭和58年3月に航空機騒音測定機器を市役所屋上に設置し、24時間連続測定を開始。その後、昭和60年2月からは小山小学校、同年11月からは本町田東小学校で同様の測定を開始しました。

市役所屋上の日ごとの発生回数は右図のとおりです。発生回数は、70デシベルが3秒間(市役所屋上は5秒間)以上継続した回数です。
音のめやす
70デシベル...目覚まし時計の音
80デシベル...地下鉄の車内
90デシベル...スピーカーの1メートル前で聞くカラオケの音
100デシベル...電車通過時のガード下



航空機騒音 測定結果

2000年11月~2001年1月

